

# Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 236

## 〈全体の視点で 総合診療は〉

「19番目のカルテ」とは？ 心身全体や患者背景などを包括的にみる「総合診療」が注目されている。これまで家庭医療(FP)やプライマリ・ケア(PC)医学とも呼ばれてきたが、このたび、TV番組「病気ではなく、人を診る 19番目の新領域」として取り上げられた。

### 〈人間は 臓器パーツの 集まりか?〉

まず、医療の歴史をごく簡単に。かつて、病める人全体を診て対応していた。たとえば痛むお腹に手をあてる治療から、「手



当て」とも呼ばれている。その後、技術の発展により内科や外科に分かれ、次第に頭から足まで、人は各臓器別で診断や治療を受ける時代に。

その懸念や反省から米国でFPやPCが誕生し、医学校でもFP講座が新設。私の師匠・日野原重明先生は日本にPCを紹介し発展させられた。小生も米国FPの臨床研修で学ぶ機会を得て、現在までPCに関わっている。

### 〈大切な概念 ACCCA〉

TV番組では、細分化された専門領域で悩み「なんでも治せる」総合診療医(松本潤)に憧れる3年目の女性医師を、小芝風花さんが演じる。つまり、1-18番の各領域における知識や経験を有するため、あらゆる健康問題に対応できることに。彼女の迷いや言動は魅力的を得ており、その基盤となる脚本や演出が秀逸だ。

総合診療(General Medicine)やPC医学において、基本となる概念がACCCAとして知られてきた。これは国際的にも重要で、小生は長年各国のPC医療をレポートし、このたびまとめることができた。

### 〈これからは チーム医療で 指揮者役〉

オーケストラで指揮者が全体をまとめてより良い音楽を奏でるように、総合診療医がコーディネーターとして皆が協力し合い医療の幅を大きく広げてほしい。

Primary とは主要な、重要なという意味合いだ。首相はprime minister、プリマドンナはprima(主役の)+donna(女性)となる。今後、患者中心とするチーム医療への期待が高まりをみせている。

(板東浩、医学博士、糖尿病専門医)



表1 日本の医療における19の診療科

診療科	Department
1 内科	Internal Medicine
2 外科	Surgery
3 小児科	Pediatrics
4 産婦人科	Obstetrics and Gynecology
5 精神科	Psychiatry
6 眼科	Ophthalmology
7 耳鼻咽喉科	Otorhinolaryngology (ENT)
8 皮膚科	Dermatology
9 泌尿器科	Urology
10 整形外科	Orthopedic Surgery
11 脳神経外科	Neurosurgery
12 放射線科	Radiology
13 麻酔科	Anesthesiology
14 形成外科	Plastic Surgery
15 リハビリテーション科	Rehabilitation Medicine
16 救急科	Emergency Medicine
17 病理診断科	Pathology
18 臨床検査科	Laboratory Medicine
19 総合診療科	General Medicine

### プライマリ・ケア(PC)の特徴

容易なアクセス Accessibility

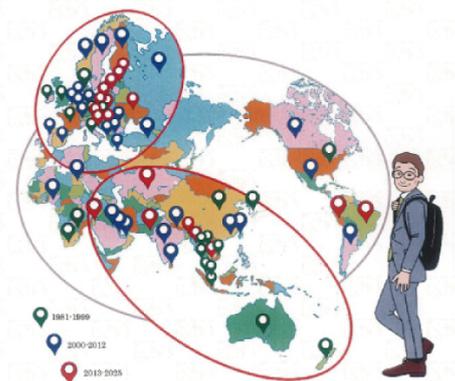
包括性 Comprehensiveness

協調性 Coordination

継続性 Continuity

説明責任 Accountability

### プライマリ・ケア医学の 様々な活動



2025年5月